

令和4年度スポーツ庁委託事業
「障害者スポーツ推進プロジェクト」

コーディネーター配置事業 ～理学療法士が関わる障害者スポーツ参加支援～

—報告書—

I.事業趣旨

<青森県における障害者スポーツの課題>

- ・2026年に青森県で全国障害者スポーツ大会が開催される予定となっており、啓蒙活動とともに幅広い分野からの出場機会を確保することが急務となっている。
- ・大会以降も継続的に障害者スポーツへの参加を推進するためのシステム構築が求められる。
- ・障害者施設や教育分野の特別支援学校などと連携して、障害者スポーツを統括している福祉分野の窓口（以下、ねむのき会館）はあるものの、医療分野における窓口は現状では構築されておらず、対象者が障害者スポーツに新たに参加する導線は未だ整備されていない。



<理学療法士の課題>

- ・障害者スポーツへの参加者が少ない本県においては、我々理学療法士の障害者スポーツに関する認識も不十分である。



医療・福祉分野に在籍している理学療法士が起点となり、
ねむのき会館との連携による導線を構築

中長期的に障害者スポーツへの参加者増加へつなげる

Ⅱ.事業内容

理学療法士が在籍する県内の病院・介護施設に
障害者スポーツの紹介と本事業の案内パンフレットを送付



障害者スポーツの理解と事業への協力要請

【事業の流れ】

1. 勤務理学療法士を介した情報提供を起点
患者・利用者へ障害者スポーツを紹介
2. 対象者がいる場合には、紹介フォーマットを
青森県理学療法士会へ送付
送付情報を元に詳細を勤務理学療法士に確認確認
3. ねむのき会館へ情報を提供
適応となる障害者スポーツ種目をマッチング
4. コーディネーターが初回同行
参加するスポーツ教室等へ理学療法士が同行
5. 理学療法士会とねむのき会館へフィードバック
参加状況や今後のフォローについて

【目標】

1. 医療分野から障がい者スポーツ参加への導線を確立
スポーツ参加者：**20**名
2. 青森県の障害者スポーツ人口増加
 - ・2026年開催予定の全国障害者スポーツ大会に参加する競技者の増加
 - ・大会以降も継続的に障害者スポーツへの参加を推進するためのシステム構築



理学療法士

障害者スポーツ
の紹介



情報提供

青森県理学療法士会
スポーツ理学療法支援部

情報提供

障害者スポーツ統括施設
(ねむのき会館)

マッチング
参加調整



初回同行
橋渡し

同行依頼

コーディネーター

障害者スポーツへの参加

Ⅲ.実施結果

勤務理学療法士からの 情報提供数	10名（男性7名、女性3名。） 年齢52.7±16.4歳（17～71歳）
障害者スポーツ参加数	7名 うち、継続参加2名
初回同行数	5名

達成率：35%（目標値：20名）

<対象者の詳細>

障害原疾患	脊髄損傷3名、片麻痺4名、頸髄症1名 多発性硬化症1名、後縦靭帯骨化症1名
参加競技	ボッチャ、水泳、アーチェリー、陸上、 車いすカーリング、卓球

3名が参加に至らなかった理由

- ・ **移動手段**がない。
- ・ 近くに競技団体や教室等がなかった。

コーディネーター数	23名
-----------	-----

達成率：115%
（目標値：20名）



IV.課題等

良かった点

- 7名の障害者スポーツへの参加につながった。
- なにより、患者様・家族がスポーツを楽しみ喜んでいた。
- 事業を利用することで、参加するまでの流れはスムーズになった。
- コーディネーターの同行により、初回参加時の精神的なハードルは軽減できた。
- 県内各地からコーディネーターの応募があった。
- コーディネーター同士の繋がり、関心がある理学療法士のコミュニティが新たに形成された。

問題点

- 事業案内に対してのレスポンスが少なかった。
（県内の理学療法士約1000人に対して、問い合わせがあったのは10件。）
- スポーツの場へ行くまでの移動手段がない。
- 郊外になると、近くに参加できるような団体が存在しない。
- 参加に至るまでのハードルはまだ高い。（対象者の受け入れ方、地理的条件）
- COVID - 19によるスポーツ教室の休止により選択肢が限られた。

今後の課題

- COVID - 19の影響は少なからずあったが、ニーズに合わせてICTも利用した参加方法の工夫が必要。
- 勤務理学療法士からの依頼が少なく、認識を高めるためのアプローチが不十分。
→理学療法士が自ら障害者スポーツに触れる機会や、ともに参加する機会を設ける。
病院や施設へ直接訪問し障害者スポーツ教室等を開催する。
- 移動手段が課題となることも多く、ICTや行政のサービスの利用など工夫が必要。
- 競技団体の数が少なく、地域偏在もあることから統括施設と連携しながら、各地域での人材育成が必要。
- 他職種にも協力を仰ぎながら、地域での障害者スポーツを通じた社会参加の認識を高める。



一般社団法人 *Aomori Physical Therapy Association*

青森県理学療法士会

〒030-0813

青森市松原1丁目5-5 サンシャインプラザ松原A-102

TEL : 017-752-9444 FAX : 017-752-9445

E-mail : ptaomori@jomon.ne.jp

(事業責任者) 米田良平

(事業統括) 漆畑俊哉

(運営責任者) 渡邊俵太

(運営スタッフ) 小舘秀平、角田しのぶ、梅崎泰侑、木村寛太